「りゅうたま」

「子供が来ない」　初期 学者

　　　学者先生の子供教室に最近、子供たちが着てはいないらしい。

「竜の玉」　靴磨き

　　なんのことだかは知らないが、「竜の玉」というものが、子供の間で流行っている。

「貴族の所有物」　新聞記者

　　「竜の玉」は東方のMANGAで貴族様は収集しているらしい。

「貴族の家で」　真相

　　子供たちは貴族の家で、MANGAを読んでいた。

「くさきものども」

「謎の集団」　初期　商人

　　商店街の裏路地で怪しい男たちがいて、変なにおいをふりまいている…。

「腐った豆」　新聞記者

　　路地裏の男たちは、腐った豆を食べているようだった・・・。

「黒覆面の男」　靴磨き

　　黒い覆面をした男が奇妙な物を配り、質問をしていた。酷い臭いだった。

「調理依頼」　貴族

　　腐った豆は納豆と呼ばれる料理らしい。誰かにその調理を頼んだらしいが・・。

「酒場から出現」　商人

　　何度か酒場から黒い覆面の男が出てくるのを目撃した。

「覆面のわけ」　真相　マスター

　　まだ製作中なので秘密にしたかった。あと匂いが酷くて覆面をしていた。

「10年目の浮気？」

「外出する商人」　初期

　　最近、商人はよくどこかへ行くようだ・・・。

「カード仲間」　　商人

　　商人はカード仲間を相手にカードをしに酒場へ行っているのだ。

「路地裏へよく来る」　靴磨き

　　路地裏へ最近よく商人が来る。

「結婚十年目の下準備？」　マスター

　　商人は実は結婚十周年を控えているのだ。

「引退した指輪職人」　学者

　　引退した指輪職人が裏路地には住んでいる。

「もう一度だけお願い」　真相　商人

　　結婚指輪の時と同じ職人にもう一度、指輪を作ってもらうため、頼んでいた。

「えーしーず・はい」

「キズモノ飛行機」　初期

　　あの日自分を助けてくれたパイロットの飛行機には大きな傷がある。

「貴族説」　新聞記者

　　その機体はもしかして貴族様ので、パイロットは貴族様ではないだろうか・・・？

「目撃証言」　靴磨き

　　コソコソ歩く貴族様をみた。しかし、なぜコソコソ歩いていたのか。

「健康状態」　マスター

　　貴族は飛行機好きだが、健康の関係で、飛行機の運転を止められている。

「貴族様は静かに飛んでいたい」　真相　貴族

　　妻にばれるといけないから、コソコソ乗るしかなかったし、名乗るわけにはいかなかったんだ。

「恋文」

「ラブレター」　初期　貴族

　　フィラーナという女性から送られたもので、身分違いの愛を告白する手紙

「女性はギリシア人？」　学者

　　フィラーナという名前から想像すると、女性はギリシア人である可能性が高い。

「マスターは知っている」　商人

　　マスターは知っているが、商人からはとても言えないらしい。

「女性は小説の登場人物？」　記者

　　フィラーナというのは連載小説の主人公の名前で、手紙の内容も似ている。

「酒の席の話」　真相　マスター

　　ロマンスをしたいという貴族に、酒の席で冗談半分に書いた手紙。まさか貴族が忘れているとは。

「チェンジリング」

「読めない本」　初期

　　なにやら読めない言語でかかれている本。

「オペラの台本」　学者

　　「黄衣の王」と書かれたこの本は、オペラの台本らしい。

「原版の所有者」　新聞記者

　　流行のオペラの原版であるこの本は、おそらく舞台関係者のものだろう。

「届けられた鞄」　真相　貴族

　　カバンの元の持ち主に心当たりがある貴族は無事にカバンと本を返した。

「盗まれた宝石を取り返して」

「盗まれたエメラルド」　初期

　　家宝のエメラルドが盗まれてしまった。

「発見されたエメラルド」　貴族

　　盗難品のエメラルド貴族のエメラルドは瓜二つだ。しかし、貴族は鑑定書も持っている。

「もしかして偽造？」　学者

　　巧妙に偽装されてはいるが、この鑑定書は偽物の可能性が高い。

「問屋がらみの犯罪」　新聞記者

　　最近盗んだ宝石を問屋を使ってロンダリングする事件が起きている。

「鑑定書は偽造」　商人

　　この鑑定書は偽造と判断できる。売ってしまった手前回収できず、黙っていた。

「戻ってきたエメラルド」　真相　貴族

　　これが盗品であるならば名誉にかかわる大問題だ。一刻も早く元の持ち主に返してくれ。

「行方不明の看板娘」

「酒場のローラ」　初期　マスター

　　ローラは長い金髪がトレードマークの明るい少女

「貴族のプロポーズ」　新聞記者

　　ローラは貴族からプロポーズをされたらしいという噂がある。

「赤毛のローラ」　靴磨き

　　昨日美容院でローラはトレードマークの金髪を赤に染めてしまった。

「旅支度」　商人

　　旅行へでも行くのか一昨日ローラは旅行道具を買い込んでいた。

「ジャックと馬車」　新聞記者

　　学者の助手、ジャックが赤毛の女性と一緒に馬車にいるのを見た。

「ジャックとローラ」　商人

　　ジャックの恋人はローラなので。馬車の赤毛の人物はローラだろう。

「駆け落ち」　真相　学者

　　貴族のプロポーズを断った以上、この町では生きてはいけない、と思い、

　　恋人のジャックと駆け落ちをして町から出て行った。

「ブラックパレード」

「南へと去った男たち」　初期

　　黒い服を着た男たちはお嬢様を攫うと、車で南へと向かったようだ。

「路地裏を走る男たち」　マスター

　　　黒い服を着た男たちが路地裏を走っていくのが見えた。

「通行止め」　新聞記者

　　　南の通りは通行止めになっていた。怪しい男たちは見ていない。

「平穏な路地裏」　靴磨き

　　　ずっと路地裏で仕事をしていた。怪しい男たちは見かけなかった。

「話しかける靴磨き」　貴族

　　　内容や相手まではわからなかったが、靴磨きが車の中の誰かに話しかけていた。

「羽振りの良い靴磨き」　商人

　　　靴磨きは最近羽振りが良いらしく、金の支払いが良い。

「金と引き換えに」　真相　靴磨き

　　　靴磨きは、金と引き換えに黒服たちの案内をした。その場所も白状したのだった。

「届かなかった贈り物」

「紅白の箱」　初期　貴族

　　友人からのプレゼントの入った、紅白の箱。中身は不明。

「箱の中身は女神像」　靴磨き

　　　箱の中身は女神像だったらしい。商人に売ってしまったようだ。

「ヴィーナス像」　商人

　　　ヴィーナス像は学者が商人から買っていったらしい。

「裸体像」　学者

　　　裸の像は、学者が新聞記者にあげてしまったらしい。

「ツケのカタ」　新聞記者

　　ツケのカタとして、新聞記者はマスターにとられてしまったらしい。・

「ギャンブルのベット」　マスター

　　　賭けの商品として、マスターは貴族にとられてしまったらしい。

「数奇な運命」　真相　貴族

　　　結局のところ、荷物は貴族のところに届いていたのだ。

「伝説の薬剤師」

「伝説の薬剤師」　初期　貴族

　　かつて伝説とまで呼ばれた薬剤師がこの町にはいるらしい。

「星の形をしたアザ」　新聞記者

　　伝説の薬剤師には星の形をしたアザがあるらしい。

「アザを消す方法」　学者

　　昔、アザを消す方法を靴磨きは学者に聞いたらしい。

「路地裏の治療者」　商人

　　昔、路地裏で薬をくれた人間に星形のあざがあった。

「伝説の薬剤師」　真相

　　実は靴磨きは引退した「伝説の薬剤師」だった。